

明るい選挙啓発授業展開例（N I E 型）

NIE (Newspaper in Education)

… 学校教育などの現場で新聞を教材として使い、児童・生徒の読解力・批判的思考力・社会理解・メディアリテラシーなどを育むことを目的としている。

1 目標

- ・講義を通して、選挙の意義やしぐみを知る。
- ・新聞を活用し、候補者の正しい情報を取捨選択し、読み解く情報活用力について学ぶ。
- ・実際の新聞記事に掲載された候補者の情報に触れることで、選挙を自分事として考える。
- ・模擬投票を通して、投票について関心を高める。
- ・投票方法の流れと投票する時に気をつけることを理解する。

2 展開例（45分の場合）※中学校向けの一例

	学習活動	備 考	担 当
導入 5分	1 あいさつ 2 なぜ「代表者」を選ぶのか 3 学習課題の確認	・あいさつ後、自己紹介	選管担当者
展開 15分	4 複数の新聞記事の読取 5 グループワーク	・各候補者の公約をまとめた記事を複数比較し、読み比べる。 ・各候補者がそれぞれ当選した場合のメリット・デメリットについて、新聞記事の情報を根拠にして意見をまとめる。	
模擬投票 15分	6 導入 ・投票所でやってはいけないことについて 7 模擬投票 ・投票する政党を決める。 ・投票が終わり次第、教室へ戻り選挙クイズに参加する。 8 開票作業を実施し投票結果を知る。	・模擬投票は、実際の選挙公報を使い、市町村選管が中心となって進行する。 ・担任は生徒の誘導を行う。 ・全員が投票を終えるまで選挙クイズを実施する。 ・市町村選管等が開票作業を実演する。 ・投票結果は生徒代表者が発表する。	市町村選管担当者 (選管準備物) ・投票所入場券 ・投票用紙 ・記載台 ・投票箱 (その他) ・受付〇名 ・投票立会人〇名 ・開票作業〇名
まとめ 10分	9 まとめ 10 アンケートに記入し、感想を発表しあい活動を振り返る。	・生徒の投票態度について評価する。 ・投票率低下、国民の権利等に触れながら一票の重要性について考えさせる。 ・活動を振り返らせながら、投票への関心の高まり及び投票方法の理解の度合いについて確認する。	選管担当者 担任 ・アンケート用紙の回収